

みよた 議会 だより

どんど焼きの炎と
地域を見守るまなざしの
あたたかさ



主な内容

補正予算・条例	P2~7
陳情・意見書・人事案件 ...	P8
一般質問	P9~18



令和7年 第4回定例会開催

補正予算を可決

定例会は11月28日に召集され、12月15日までの18日間の会期で開催されました。

※全上程議案は左記をご参照ください



11月28日 定例会開会日上程

開会日に上程された一般会計第5号補正予算は3,082万円の増額でした。
歳出増は無電柱化促進事業補助金や障がい者自立支援給付費などです。
歳出減は道路新設改良事業費や認定こども園振興経費などです。

一般会計 第5号補正

3,082万円の増額補正で

総額 **100億4,200万円**

町民1人あたり

59万4千円

※令和7年12月1日現在の人口
16,883人で算出



追加議案

12月15日 定例会閉会日上程

閉会日に上程された一般会計第6号補正予算は5,370万円の増額でした。
歳出増は、物価高対応子育て応援手当事業や
人事院勧告にともなう職員などの給与改定費などです。

一般会計 第6号補正

5,370万円の増額補正で

総額 **100億9,500万円**

町民1人あたり

59万8千円

※令和7年12月1日現在の人口
16,883人で算出

条例の改正		
議案	御代田町犯罪被害者等支援条例の制定案	可決
議案	御代田町公共ライドシェア実証運行に関する条例の制定案	可決
議案	御代田町営駐車場条例の一部を改正する条例案	可決
議案	御代田町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例案	可決
議案	御代田町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	可決
議案	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	可決
議案	御代田町特別職の職員で常勤の者等の給与に関する条例の一部を改正する条例案	可決
議案	御代田町第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当、勤勉手当及び費用弁償に関する条例及び御代田町第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	可決
議案	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例案	可決
予算	令和7年度予算の詳細は6、7ページをご覧ください	
議案	令和7年度御代田町一般会計補正予算案（第5号）	可決
議案	令和7年度御代田町一般会計補正予算案（第6号）	可決
議案	令和7年度御代田町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算案（第3号）	可決
議案	令和7年度御代田町介護保険事業勘定特別会計補正予算案（第3号）	可決
議案	令和7年度御代田町介護保険事業勘定特別会計補正予算案（第4号）	可決
議案	令和7年度御代田小沼水道事業会計補正予算案（第3号）	可決
議案	令和7年度御代田小沼水道事業会計補正予算案（第4号）	可決
議案	令和7年度御代田町下水道事業会計補正予算案（第3号）	可決
議案	令和7年度御代田町下水道事業会計補正予算案（第4号）	可決
人事		
議案	固定資産評価審査委員会委員の選任	同意
議案	教育委員会委員の任命	同意
契約		
議案	令和7年度 県補助 G I G A スクール構想一人一台端末購入契約	可決
陳情		
詳細は8ページをご覧ください		
議案	診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める陳情	採択
意見書		
詳細は8ページをご覧ください		
議案	診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める意見書	可決
報告		
報告	令和7年度御代田町土地開発公社第1回事業変更計画及び第2回補正予算の報告	—
その他		
議案	浅ろく水道企業団規約の変更	可決
議案	第6次御代田町長期振興計画基本構想案	可決

大幅な増額の公営企業会計、どんな事業？



国の補正予算に要望した事業です



御代田小沼水道事業

紫外線処理施設整備工事費 **1億8,700万円**



安全安心な配水のために

水源に動物の糞尿が混入しクリプトスポリジウムやジアルジアといった原虫が調査で検出された場合、飲むことができなくなってしまいます。

現在、検査で該当の検出はありませんが、より安全安心に配水できるよう、万が一がないように紫外線処理をおこなうための設備工事です。

御代田町下水道事業

管更生工事による管きょ費 **1億5,950万円**

御代田町下水道事業では持続可能な下水道事業のため、下水道施設を計画かつ効率的に管理、点検調査し、古く傷んだ下水管の修繕をおこないます。

下水管の近くにガス管などが埋設されていることもあり、さまざまな方法を模索しながら、今回は更生工法や布設替えで対応する工事費です。



町のシンボルマークがあしらわれたマンホール

議会はさまざまな予算を審議、議決します。



町の会計



一般会計

町税や国からの補助金などの収入を配分し、教育、福祉、道路、公園の整備など、主に町の基本的な行政サービスをおこなう会計です。

【役場1階】
保健福祉課
町民課
税務課
会計課

【役場2階】
総務課
政策推進課
企画財政課
産業経済課
建設水道課

【役場3階】
議会事務局

【エコール御代田】
教育委員会

【御代田消防署】
消防課

特別会計(6つ)

特定の歳入と特定の歳出を一般会計と区分して経理することにより、特定の事業や資金運用の状況を明確化する会計です。



・国民健康保険勘定
特別会計

・介護保険事業勘定
特別会計

・後期高齢者医療
特別会計

・御代田財産区
特別会計

・小沼財産区
財産管理特別会計

・住宅新築資金等
貸付事業特別会計

公営企業会計(2つ)

地方公共団体が公共の福祉増進のために設置し、使用料や手数料などをもとに運営されています。

料金だけではまかなえない費用(政策的な経費や一部の負担金など)は、一般会計から繰り出すこともあります。



【御代田小沼水道事業】

【御代田町下水道事業】

※令和6年度より下記の3つの会計を統合し、下水道事業会計に移行

- ① 公共下水道事業
- ② 農業集落排水事業
- ③ 個別配水処理施設整備事業



歳出

公共ライドシェア 実証運行

214
万円

公共交通実証運行委託料 (R8.2、3月分)

町民の移動利便性を向上させるため、自家用車を活用した御代田町公共ライドシェアの実証運行をおこなうための委託料である。



問

委託できる業務の詳細は。

答

- 業務は大きく分けて5つである。
- ①運行費として予約アプリの使用料、ドライバー採用認定講習などの運用費
 - ②PayPayやクレジットカード決済に伴う手数料
 - ③アルコールチェッカーやドライブレコーダーなどの消耗品費
 - ④ライドシェア専用保険料
 - ⑤運行管理者とコールセンターへの委託料がある。

check!

令和7年

第4回定例会

本会議や委員会でも、議員から出された質疑とともに注目事業をピックアップしました。

歳出

やまゆり 保育園費

201
万円

やまゆり保育園費増額は職員増加によるものである。



問

10月に職員が増加したが、やまゆり保育園、雪窓保育園は現在の職員数で足りている状況か。

答

こどもの人数に対する職員の配置は足りている。10月に増えたことで全クラス足りている状況にある。

歳出

暮らしのカレンダー 700部増刷

56
万円

広報発行経費

家庭ごみの出し方や健康診査、予防接種、社会体育の年間行事など、暮らしに役立つ情報を掲載した「暮らしのカレンダー」の増刷経費である。



問

全戸配布という認識だが、合計7,000部で足りるのか。

答

区を通じて約5,000部を配布し、窓口や転入者への配布が約500部、環境衛生係で100部、イベント用などを含め、従来は6,300部で足りていた。今年は不足したため700部を増刷する。

問

配布は区加入世帯のみか。

答

配布は広報やまゆりと同様、区加入世帯が中心で、それ以外の方には窓口などで希望者に配布している。

町営駐車場月額 利用料金改定

条例の改正

町営駐車場条例の一部を改正する 条例案

町営駐車場における自動車一台あたりの使用料を、年額36,000円（1月あたり3,000円）から年額60,000円（1月あたり5,000円）に改定するための条例改正である。



問 3,000円から5,000円に改定する根拠は。

答 近隣市町村の駅近くの駐車場は軒並み月額5,000円を超えている。町内でも民間駐車場は同程度かそれ以上であり、町営駐車場が民間料金を抑える要因になっている事例もある。このため、5,000円が妥当と判断し提案したものである。

歳出

道路区画線 設置工事

100
万円

グリーンベルトとは、車道と歩行空間を区分し、歩行者の安全確保や景観向上を目的として道路の一部に設けられる緑化帯や着色帯のこと。歩道を設置できない場所で代替的に用いられる。



問 道路区画線設置工事について、グリーンベルトの場所はイメージできなかった。歩道を設置できないためグリーンベルトになると思うが、設置場所と、なぜグリーンベルトとなったのかを確認したい。

答 場所は西軽井沢公民館南側の東西に走る細い道路で、コーポ芦田のテニスコートへ抜ける区間である。開発によりセットバックをおこない6mの舗装を完了したが、歩道設置には幅員が不足したため、地元区と協議のうえ、歩行者の安全確保をグリーンベルトで対応した。

歳出

住宅耐震改修 補助金

▲290
万円

御代田町特定教育・保育施設及 び特定地域型保育事業の運営に 関する基準を定める条例等の一 部を改正する条例案

条例の改正

地域限定保育士制度とは、一定の地域内にかぎって保育士として働くことができ、保育士不足の解消を目的とした制度である。



問 地域限定保育士とは。

答 保育士不足が特に深刻な地域において、都道府県が実施する特別な試験に合格し登録された者で、登録した都道府県にかぎり保育士として業務をおこなうことができる。登録後3年かつ一定の期間の従事することで、通常の保育士登録が可能となる。

住宅耐震改修補助金は、御代田町木造住宅耐震診断事業実施要綱の規定に基づき、耐震診断後の補強工事などを補助するものである。



問 住宅耐震改修補助金について、防災の観点から積極的に進めるべき事業と考えるが、減額の理由は。

答 耐震補強工事2件分を当初予算に計上したが、工事費高騰などの理由により本年度の工事を見送ることとなり、事業の実施が見込めないため減額補正とした。

▼陳情はこうなりました▼

陳情名	陳情者	趣 旨	委員会意見 (◎が委員会の結果)	担 当 委員会	本会議 結 果
診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める陳情	長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林 吟子 ほか	<p>国による医療費削減政策が推しすすめられる中で、診療報酬は上らず昨今の物価上昇に対応していない。</p> <p>また、医療や介護・福祉従事者の賃金を他産業と同じように上げることが難しく、人員不足にもつながっている。</p> <p>医療機関は過去最大の規模で倒産、廃業がすすみ、深刻な経営危機に陥っている。このままでは医療にかかれぬ地域が全国でさらに広がるのが強く懸念される。</p> <p>また、政府は看護師、保健師、介護士、障害福祉などの賃金引き上げを打ち出したが、日本医労連の医療機関や介護施設での賃上げ平均率は2.07%に留まり、2025年民間主要企業春季賃上げ平均率5.52%に遠く及ばない。</p> <p>政府の責任による医療や介護・福祉事業の安定的な維持発展と、すべてのケア労働者の処遇改善のため国へ意見書を提出するよう求める。</p>	<p>◎採択</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療関係は今厳しく病院の7割が赤字だという報道もあった。医療従事者の給与が低いことから確保が難しくなっていることでもあるので、議会として国に意見を伝えていく必要がある。 訪問介護の利益率が高いと引き下げられたが、地方の一軒ずつ訪問する事業所は廃業となっている。病床が多いと経営を圧迫するので削減され、それが介護施設に、そして介護施設がなく在宅へという流れになっている。 厚労省で医療介護支援パッケージとして報酬改定を前倒しするといっている。処遇の改善が人員確保につながることも公費で実施していくことが事業所の安定につながる。 公定価格の改定は物価高騰や賃上げに対応するため必要である。介護職員の報酬は他業種と比べ月8万円低いといった中で、大胆に引き上げる改革が必要である。 	総務福祉文常任委員会	賛成多数で 採択

▼国・県へ意見書を提出しました▼

国保制度の改善を求める意見書

2026年度の診療報酬改定と合わせ、1年前倒しで介護・障害福祉サービス等報酬改定を実施すること。すべての医療機関と介護・福祉事業所の物価高騰対策も含めて、各10%以上の引き上げ改定を実施すること。また、当面の支援策として、2025年度中に全額公費による賃上げ支援策を実行すること。

【提出先：内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣、総務大臣】



御代田町
観光キャラクター
みよたん©

教育委員会委員

市川 いちかわ

和明氏を同意

任期は

令和7年12月15日から
令和11年12月14日まで

固定資産評価審査委員会委員

高山 たかやま

頼剛氏を同意

任期は

令和8年1月1日から
令和10年12月31日まで

人事案件

12月定例会 一般質問 Q&A



9人の議員が質問しました

一般質問とは、議員が町の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町に求め、適切な町政運営を進めているか議員がチェックするものです。

この議会日よりでは、◎の項目を議員本人が要約執筆したものを掲載しています。

いちむら ち え こ
市村 千恵子

P10

- ◎雪窓湖の整備と管理の考えは
- 町長の出張や視察の内容と検証は
- ◎タクシー利用助成事業の拡充を

もりいずみ しず お
森泉 謙夫

P11

- 都市構造再編集中支援事業の推進状況について
- ◎急激な人口の変化について

なかやま あつ お
中山 温夫

P12

- ◎高齢者、障がい者の福祉、介護の充実について
- ◎町総合防災訓練での住民参加と災害時における要支援配慮者の支援計画の委託について

こ い ど てつ お
小井土 哲雄

P13

- ◎井戸沢最終処分場の混雑解消について

ち ば しんいち
千葉 信一

P14

- ◎学校の防犯体制について
- ◎部活の地域移行について
- こども誰でも通園制度について

いけ だ るみ
池田 るみ

P15

- ◎ごみの資源化について
- ◎ユースセンターの設置促進について
- クマの出没対策について

やまうら ひさ と
山浦 久人

P16

- ◎雪窓湖の浚せつ工事について
- ◎雪窓公園の利用について

とくよし まさひろ
徳吉 正博

P17

- ◎町民の健康と生命を守る公的医療支援について
- ◎町外の小学校、中学校、教育機関へ通学している児童生徒について

うちぼり あや こ
内堀 綾子

P18

- ◎ホテルひらまつへ賃貸借契約をしている町有地に地上権設定する案について
- ◎町内道路の横断歩道や歩道の白線について
- 小園町長が2期目の町長選挙の際に支援者の方と交わした約束について

ドッグラン計画は見直すべきでは

ドッグランは設置しない



いちむら ちえこ
市村 千恵子議員

YouTube
2次元コード



問 令和6年度に浚せつ工事がおこなわれ、今年度は、雪窓湖遊歩道整備事業で西側未整備部分やあず



野鳥の森で植栽された場所がドッグラン予定地。

まやの整備、ドッグランを設置する計画と聞いているが、ドッグランは近隣住民の理解は得られているのか。
施工場所は、野鳥の住みよい環境づくり推進事業を獺友会御代田支部が平成22年に植栽事業をおこなったところで、適地ではないと考える。
ドッグランの計画は見直すべきではないか。

問 タクシー券の利用枚数を増やし、年齢の引下げの考えは。
答 企画財政課長 実証している公共共ライドシェアは、タクシーやバスの既存の公共交通の空白を埋める役割と考えている。タクシー利用助成券の枚数、年齢の拡充、必要性を含め、今後の町の公共交通全体のあり方を検討していきたいと考えている。

問 町内に2社あるタクシー業者は、
答 企画財政課長 タクシー会社への補助制度の創設は、ほかの自治体の事例などを研究していきたい。

利用枚数増と年齢の引き下げは枚数、年齢拡充、公共交通を検討

答 産業経済課長 雪窓湖公園には常駐する管理者がおり、維持管理が難しく安全管理が担保できないので、ドッグランは設置をしない。

問 トイレの管理、整備後の雪窓湖の管理の考えは。
答 建設水道課長 トイレの清掃回数はシルバー人材センターに依頼して、雪窓湖公園は週に1回、龍神の杜公園、雪窓公園

は、週に2回入っている。
問 トイレの掃除回数をはかの公園並みにすることはできないか。
答 建設水道課長 公園の整備が済むと利用も増えるので、週2回できるかは検討していきたい。



台数が減少しているタクシー。



もりいずみ しずお
森泉 謙夫議員



YouTube
2次元コード

住民の不安は解消されていないが

説明会が必要であれば要請は可能

問

三ツ谷区内に所在する日本語学校の運営事業者が、年間5千人規模の外国人留学生の受け入れを計画していることについて、三ツ谷区役員より報告を受けた。

さらに「事業者側は町長とは話ができていない」という説明があり、町が持つ各種の権限などから、常識的に考えて町がそのようなことをするなどあり得ないと感じ、その場で強く異論を示した。

町民に誤解があればいけないのであえて聞くが、町側と運営事業者がこの件で話ができていないというのは事実か。

答

副町長

企業と町の間ですでに話ができていたといった事実は一切ない。

問

確かな情報に乏しいことから住民の不安は解消されていない。

運営事業者による町民への説明会などを要請する考えについての見解は。

答

副町長

説明会が必要ということになれば、町民の声として要請することは可能ではないかと考えている。

問

町民の不安に対する対応を強く望んでいるが、町長の見解は。

答

町長

本件は民間事業者が正当な事業活動として推進される限りにおいては、町として口を出せる範囲は大変限定的である。一方で、町が事業者に何らかの便宜を図るという余地

も一切ない。

町への開発行為申請については、法律や条例等のルールに従い厳格に対処していく。

学生5千人という計画について、個人的な見解としては実現性に乏しいのではないかと感じているところである。例えば5千人はるか500人、いや50人という人を増やしていくということ自体も、相当な困難を伴うというのが御代田町の現状だと思う。

5千人の計画というのが本当にあり得るのだろうかという視点を、皆さんに持っていただくことも重要であると考えている。

当然ながら、法令違反、また条例違反等がないように注視していきたいと思うし、その疑いが出てきたときには、関係機関への情報提供など町としてしっかりと対応していきたいと考えている。



人口が増え続けている御代田町。

リフト付福祉バス借上げの支援を

補助金の増額を念頭に進めたい



なかやま あつお
中山 温夫議員

YouTube
2次元コード



問

町身体障害者福祉協会が主催している「ふれあいの旅」事業は、社会参加や交流の促進、生きがいづくりや生活の質の向上につながる重要な活動として実施している。また、外出や旅行を通じて、ボランティアとの交流で相互理解が深まり、共生社会の実現にとっても欠かせない事業となっている。

しかし、乗降リフトのついた貸切りバスの借り上げ費用が、経済的負担が大きく活動の制約となっているのが現状である。
障がい者の外出の機会を保障し、社会参加

答

保健福祉課長

を促進する観点から、「ふれあいの旅」事業のリフト付福祉バスの借り上げ費用に対する支援の見解は。
ふれあいの旅事業は、会員の親睦を図るため年1回開催されている。車椅子の利用者にとっては、行動に制限があるため外出な



車いす乗降がスムーズにできるリフト付きバス。

どが難しい状況で、この事業は、特に外出できる貴重な機会にもなっている。
社会参加、生きがいづくりの観点からも、リフト付バスの借り上げ料分の補助金については、次年度以降、増額を念頭に進めたいと考えている。

今後の防災訓練の方向性は

災害時の体制強化の協議を継続

問

災害が多様化し、激甚化し、いつ災害に見舞われるか不透明な時代となっている。

答

総務課長

今年度以降も、

総合防災訓練は、実際に機能する地域防災体制を検証、強化する場としての役割があり、デジタル技術や情報通信の活用とあわせて、地域住民及び地区企業、学校などが主体的に関わる共助の訓練への転換が必要ではないか。今後の総合防災訓練の方向性は。

区への協力依頼や災害時の体制強化の協議を継続していく。区や自主防災組織だけでなく、消防団による安否確認、救助、防災士による自主避難所の設営なども訓練に盛り込み、それぞれの組織がどのように情報を共有し、動いていくべきかという連携部分の確認ができるような訓練にし、毎年課題をクリアにできるように考えていく。



総合防災訓練での消防はしご車(北小学校)。



こいど 小井土 哲雄議員



YouTube
2次元コード

最終処分場の混雑解消策は

混雑状況の調査、確認をし対応

問 処分場の稼働可能年数は。

答 町民課長
1年間で平均約130m埋め立てしていることから、計算上では令和5年度時点で約74年埋め立てが可能となる。

問 別荘に来る方、あるいは年間を通して住んでいる方の搬入許可証発行の仕組みは。

答 町民課長
町内に別荘を所有している方は、御代田町内別荘所有者に係るごみ処理要綱に基づき、毎年度、井戸沢一般廃棄物最終処分場ごみ搬入許可申請書を提

出したとき、御代田町別荘所有者ごみ処分許可証を発行している。

問 これまでの事故防止に関する対策及び解消策は。

答 町民課長
混雑する時間帯は3回ほどあり、この時間帯の渋滞は上ノ林霊園入口までつながり、渋滞解消に10分程度の時間を要している。

土曜日では、開場後すぐの入場、退場が多いことから渋滞解消に20分ほど要する場合もある。

待機車両の問題は解消のための対策が課題となっている。

井戸沢最終処分場の出入り口拡張などにより、場内待機場所の確保が一番の策と思うが、現状それらの対策は困難なためソフト面での対応をしている。

問 現状の駐車スペース拡張が混雑解消の最善策と感じているが、その案で進めてはどうか。

答 町民課長
最終処分場の北側部分を掘り起こし、手前側を活用し待機場所確保は有効な方法の一つとして考えられる。法的な最終処分場の運営も含め、検討していきたい。

井戸沢最終処分場へ来場される方の待機車両問題は、井戸沢最終処分場の延命により使用期間が長期になることから、解決策が課題である。

今後も引き続き混雑状況の調査、確認とあわせて出来る対応をしていく。



渋滞する井戸沢処分場前の道路。

学校の防犯体制と対策は

毎年見直し継続的に改善



ちば しんいち
千葉 信一議員

YouTube
2次元コード



問 危機管理マニュアルの存在と防犯訓練は。

答 教育次長 マニュアルは全ての学校で作成が義務であり、学校長は全ての教職員に定める事項を周知徹底し、意識高揚を図っている。

毎年見直しをおこな



危機管理マニュアルで安全を確保。

問 現在の防犯対策は。

今後、小学校新設時などで防犯対策も検討されていくのか。

答 教育次長 防犯カメラの設置、夜間、休日の警備の委託、防犯用のさすまたを配備し、不審者情報などにとめない、職員のパトロールや町交番へのパトロールの依頼などを実施している。

い、継続的に改善することで学校安全の向上を図り、備えている。防犯訓練など、毎年もしくは隔年でおこなっている。

部活動改革実行期間で進捗状況は

ICT活用したオンライン事業実施

問 部活動の地域展開は新たな制度を盛り込んだガイドラインの案をまとめ、自治体が地域クラブとして認定し、大会への参加や財政支援が認められる新たな制度が盛り込まれたと記載されている。

答 教育次長 町では、県の方針に沿って、令和8年度末をめどに休日の部活動地域展開を完了することとしており、現在13の部活動のうち、男子バスケット部が休日の部活動地域展開を完了している。

男子バスケット部は、県事業のICTを活用したオンラインクラブ活動トライアル事業を実施しており、指導を受けている。



平日の男子バスケットボール部練習風景。

現在の部活動では、部活動指導員、外部指導者やスポーツ少年団などを中心に協力いただき、ほかの部活動も地域展開が進むように実施していきたいと考えている。

問 安全安心な部活動をするため、不適切行為の防止対策は。

答 教育次長 指導者に対して、

中学校で部活動指導者研修会を実施している。今年度は、佐久地区指導者養成リーダーの方より、指導のあり方やハラスメントの根絶などの研修があり、指導者が受講した。今後も研修会を定期的におこない、不適切行為防止も含め、資質向上を図りたいと考えている。



いけだ
池田 るみ議員



YouTube
2次元コード

ユースセンターの設置促進は

駅待合室に自習スペースを設置

問 若者の居場所づくりや相談機能の強化の観点から、ユースセンターの必要性の認識は。



中高生の居場所として検討が進む駅待合室。

答 町民課長
こども計画策定にあたり実施した中高生アンケートの中、居場所を求める声が多数寄せられていることから、中高生を含めた若者の居場所の必要性は認識している。

問 県の地域発元気づくり支援金などを活用し、ユースセンターの設置促進に前向きに取り組んでいくべきと考えるが見解は。

答 企画財政課長
ユースセンターとまではいかないが、まずは御代田駅のリニューアルした待合室

に自習できるスペースを設置し、中高生の居場所として活用できるようにしていきたいと思っています。

使用済み食用油の資源化は

再資源化に向け検討を進めていく

問 使用済み食用油の資源化の考え

は。

答 町民課長
実態を把握する上で、町内の排出見込量や住民ニーズの調査と回収後の処理方法について研究を行い、再資源化に向け検討を進めていく。

問 資源物回収の収集体制変更の検討は。

町民課長

答 資源物を各集積所で回収するには、種類別のネットや回収ボックスを用意する必要がありますが、集積所の容量、スペース的に課題がある。

スペースの課題が解決

内容については、今後さらに検討し、令和8年度中の設置を考えている。

に寄与すると考えている。その上で、生ごみ処理機の購入費補助は、二重投資とも捉えられるため、現在のところ購入費補助の実施は考えていない。

生ごみ処理機の購入費補助の考えは。町民課長
家庭系生ごみを分別し、浅麓汚泥再生処理センターで処理することで資源化に努めるとともに、ごみ排出量削減につなげ、そのための運営に分担金として支出することは、環境保護と資源の有効利用、環境負荷の軽減



最終日曜日、公民館での資源回収。

6年8月の豪雨による池の決壊は

当町ではなかった



やまうら ひさと
山浦 久人議員

YouTube
2次元コード



問 町には、大池、雪窓湖などの農業用ため池はいくつあるのか。

答 産業経済課長
大池、七口池、蛇谷地池、雪窓湖、五

そのうち防災重点農業用ため池は、大池、七口池、雪窓湖の3つである。

問 池の安全性はどのような状態か。

大池は必ずしも安全とは言えない状態だが、柵の設置はしないのか。また、昨年8月の集中豪雨のとき、池の決壊はあったのか。

答 産業経済課長
防災重点農業用



工事を終え、穏やかな雰囲気雪窓湖。

ため池に位置づけられている雪窓湖、大池、七口池は、地震耐性評価などを実施し、評価の結果を踏まえ、柵の設置を含め安全なため池となるよう対応していきたいと考えている。また、農業用ため池の決壊は当町ではなかった。

問 春に雪窓湖の浚せつ工事がおこなわれたが、その後の現状は。

答 産業経済課長
夏は水草のヒシの繁茂が例年以上に見

られた。現在は水温が冷たくなっている影響で、そ

のヒシの繁茂も見られない状況である。

問 工事の契約額は。

答 産業経済課長
令和6年度町単

の緊急浚せつ推進事業雪窓湖浚せつ工事の契約額は2千680万7千円である。

問 秋にウオーキングで見た際、前

とあまり変化がないように思ったが、どのような工事がおこなわれたのか。

答 産業経済課長
雪窓湖にたまった泥や汚泥を排除する

工事である。



新しくしたばかりの滑り台が傷だらけ。

問 将来的に雪窓湖を観光目的に使う事はないか。

答 産業経済課長
現状では観光を

滑り台スケボー使用の打開策は

パトロールを実施している

問 雪窓公園の改修工事が終了した

が、滑り台が傷だらけだと聞いた。

そこでスケートボードをしているようだが、把握はしているか、また

の打開策は。

答 建設水道課長
6月に公園利用

者からスケートボードを使って滑り台を下りているとの連絡があり、傷跡を確認した。注意喚起の看板を設置し、パトロールを実施している。



とくよし 徳吉
まさひろ 正博議員



YouTube
2次元コード

町民の緊急搬送の件数は

令和6年度は604件

問 移住者の増加が続き、緊急搬送の需要も増えている。

昨年度の緊急搬送事案として、令和6年度の町民の緊急搬送の件数は。

答 保健福祉課長

佐久広域消防本部の集計では、令和6年度の町内での緊急搬送件数は、604件である。そのうち町内医療機関への搬送は61件、町外医療機関への搬送は543件と約9割を占めており、町外医療機関への搬送が多い状況である。

問 町が支援補助している病院や金額などは。

答

保健福祉課長

近年、町内では無床診療所の新規開業が増加しており、休日夜間に緊急患者や重症患者が救急医療を安心して受けられるよう、第1次医療の確保のため小諸北佐久医師会へ休日の在宅当番医制事業負担金として令和6年度決算額で128万円を負担している。

佐久広域連合が実施する圏域内10病院を指定した病院群輪番制病院運営事業負担金として264万円を負担している。

第2次医療の確保で



救急時の機敏な動きと優しさのある御代田消防。

は、平日夜間の救急患者に対応できるよう、佐久地域11市町村と医師会、浅間総合病院、佐久広域連合が連携して、浅間総合病院内に設置をしている。

佐久地域平日夜間急病診療センター運営負担金として118万円を負担している。

第3次医療の確保では、佐久広域連合が実施する佐久医療センター運営補助金の負担金として1千61万円を負担している。

総額1千571万円の負担をしている。

町外通学児童生徒の把握は

小学生81名、中学生55名

問 町外通学する児童生徒の教育環境を教育委員会は把握しているか。

答 教育長

令和7年度、町外に通学している小学校児童数81名、中学校生徒55名、合計136名である。

町内に通学の小中学

校の児童生徒数は1千230名である。

町外通学の理由は、把握していない。

町外に通う児童生徒も、大切な地域の宝なので、地域行事などに参加し交流を重ね、お互いを理解し成長する機会になればと願っている。



交流を深める大切な地域行事。

当時、賃貸借とした地元の民意は

『地域水源保全』意向で賃貸借に



うちぼり 内堀 あやこ 綾子議員

YouTube
2次元コード



問 町の財産である
公有地に地上権
を設定することは、慎
重な判断が求められる
ホテルひらまつへ賃
貸借契約の町有地に地
上権を設定する案、提
案経過は。

答 企画財政課長
現在の賃貸借契
約は平成30年8月27日
付で締結し、9月1日
から30年間で現在もこ
の契約は継続している。
今回、ひらまつ経営
のロードスターキャピ
タル株式会社から、地
上権設定に変更したい
と申出があった。
賃貸借と地上権の一
番の違いは、土地利用
者の権利が強くなるこ

とだと思う。
地上権設定要望は、
令和5年9月8日にひ
らまつから最初の相談
があった。
同年11月30日理事者
会で理事者へ報告した。
令和6年1月24日、
再度ひらまつから地上
権設定に変更した場合
の契約期間や資料に関
する説明があった。
令和6年に計3回、
町顧問弁護士に相談を
した。
令和6年3月、ひら
まつから三菱UFJ信
託銀行へ資産譲渡し、
理由はホテル事業の拡
大と財務体質改善が目



水源を守るために尽力している地域。

的で、内容は令和6年
6月14日の議会全員協
議会で説明をした。
資産譲渡で、町とひ
らまつで締結をしてい
た賃貸借契約相手が、
三菱UFJ信託銀行へ
変更となった。

問 当時、売却では
なく賃貸借契約
と決定した地元からの
民意は。

答 企画財政課長
地元区から地域
水源保全のため強い意
向があった。意向が
あって現在の賃貸借契
約になったと認識をし
ている。

道路の白線劣化の把握と今後は 警察と連携し安全向上に努める

問 町内道路は、横
断歩道や歩道の
白線の劣化が激しく、
整備の必要性を感じる。
現状把握と今後の整
備予定は。

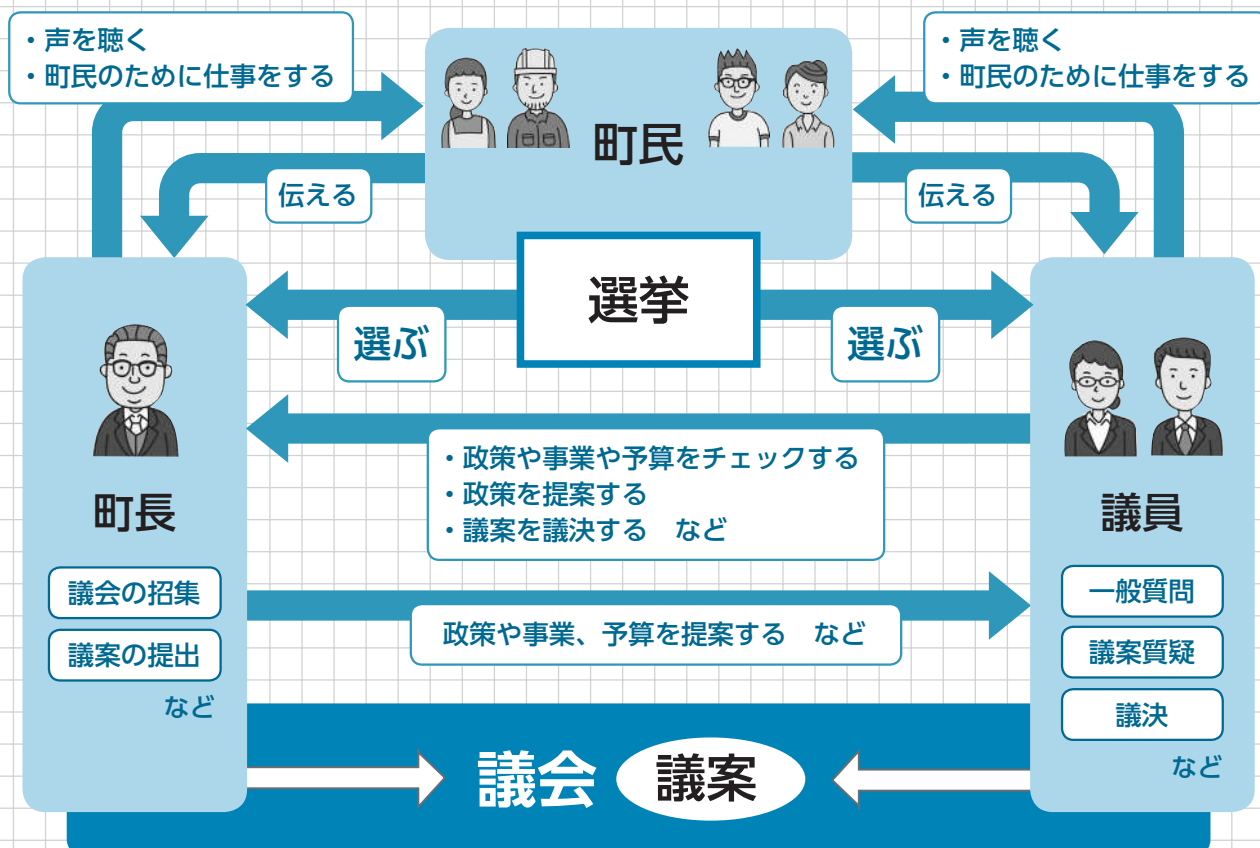
答 建設水道課長
横断歩道や区画
線の白線が摩耗して視
認性が低下するなど歩
行者や運転者の安全に
影響を及ぼすおそれが

あり、適切な維持管理
を通じて安全性を確保
が必要と認識している。
交通安全の確保を最
優先に道路状況の的確
な把握に努め、警察と
の連携をし適切な時期
に整備を実施し、安全
性の向上に努めていく。



浅間山頂の薄っすら雪と同じ薄い色の道路の白線。

議会のしくみ



次回定例会は2月27日開会予定

本会議の傍聴ができます。希望される方は、議会事務局で受付してください。

日程は決まり次第、町ホームページでお知らせします。

こちらをスマートフォンで読み取っていただくと、町ホームページ「御代田町議会」のページに繋がります。



動画配信中!

Youtubeの御代田町議会チャンネルでは議案質疑や一般質問など本会議の様子を動画で配信をしています。ご視聴、チャンネル登録をお願いします。



12月定例会
開会日



12月定例会
議案質疑



12月定例会
閉会日

動画
配信中!



議会だよりを読んで

おおつか まさる
大塚 勝さん

議会だよりを読んで

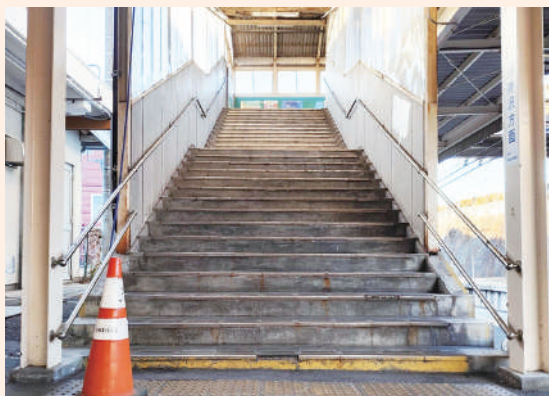
小学校体育館の冷房設置の質問が2名の議員からありましたが未来を紡ぐ子どもの教育環境の改善が早く進むことを期待します。

また、学校に限らず親子でスマホやSNS等のネットのつきあい方の学習についても議題になることを期待します。

議会や町行政へのご意見を！

御代田駅のエレベーター設置を進めていただきたいと思います。

また、御代田駅～岩村田駅間のバス増便、もしくはライドシェアと連携して改善できれば良いと思います。



MIYOTA みんなの声

町のみなさんの声をお届けします

みよたで暮らして

つちや たけし
土屋 毅さん



昭和48年に生まれ3歳から御代田で生活しています。浅間山を望む景色は子どもの頃から変わらず、町は少しずつ姿を変えながら今につながっています。

暮らしは便利になり、人との距離も心地よく感じられるようになりました。

最近、新しい体育館づくりのワークショップが始まり、町にスポーツの話題が増えています。卓球を続けてきた一人として、そしてスポーツ協会副会長として、誰もが気軽に集い体を動かし笑顔が生まれる場所を未来につなげていきたいと思っています。



表紙の写真

どんど焼き

強風で初めて延期になった豊昇区のどんど焼きは、次の日12日に、快晴のなかでおこなわれました。

それぞれの家の特色ある『稲の花』や『繭玉』をどんど焼きの火で焼いて食べると、1年間『無病息災』といわれています。



編集後記

昨年は、異常な物価高騰やコメ不足、夏の異常な暑さで暮らしがとても大変な年になりました。

また地球温暖化の加速でいたる所で山火事や水害など自然災害が発生しています。

今年は、穏やかな年になることを願うばかりです。

活動内容をわかりやすく、読みやすい紙面を目指し、手に取って読んでいただけるよう取り組んでいきたいと思っています。

ご意見やご感想をお寄せください。

市村 千恵子

広報広聴常任委員会

委員長 内堀 綾子
副委員長 市村 千恵子
委員 池田 るみ
徳吉 正博
山本 今朝和
赤田 憲子
森泉 謙夫
千葉 信一